

平成29年度 春学期・夏学期開講

# 科学技術政策特論

第7回講義

## 今後の河川事業の展開について ～「世界の北海道」を目指して～

国土交通省北海道開発局 建設部 河川計画課長 河川計画課長

石塚 宗司 氏

### 石塚先生からのメッセージ

- 昨年8月の記録的豪雨により、人流・物流を担う重要交通網の長期的・広域的な分断や広範囲にわたる農業被害等に伴うに野菜価格の高騰など、国内の社会・経済に深刻な影響を与えました。
- IPCC5次評価報告書では、気候システムの温暖化について疑う余地なしとされており、国内でも気候変動の影響が特に大きいと予測されている北海道だからこそ、気候変動への適応策をどの様に進めるかは喫緊の課題です。
- 明治時代に開拓が始まって以降、時代の要請に応じ、日本を支えるエネルギー、食料供給等の基地として発展してきた北海道の総合開発の経緯を俯瞰しつつ、河川技術政策の視点から国に貢献する北海道を創り上げるための河川関連施策を一緒に考えてみませんか。

日時：  
2017年5月26日

金曜日

5講目 16:30-18:00

場所：

工学研究院

オープンホール

[B-201]

石塚 宗司先生

北海道稚内市出身、1987年北海道大学工学部土木学科卒業。

同年、国土交通省北海道開発局入省。同省北海道局水政課企画官、同参事官付技術企画官、同省北海道開発局建設部河川計画課企画官、同札幌開発建設部次長、同省東北地方整備局青森河川国道事務所長等をご歴任され、2016年6月より現職。

土木技術を基礎として北海道総合開発を推進する立場で北海道の河川行政に従事。